

女川町 支援活動レポート

2016.10.8～2016.10.9

(東京都港区 みなと区民まつり)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成28年10月29日(土)

東北応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。
また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

1. はじめに

9月5日早朝、女川町に待望の今季初の秋刀魚が水揚げされました。入札が行われたのは、9月1日から新たに運用が開始された中央荷さばき場で、この荷さばき場の完成により、大型漁船の受け入れも可能となりました。秋漁の主役は秋刀魚ですが、女川町では銀鮭の養殖も盛んです。中央荷さばき場には銀鮭の選別機なども完備されたそうです。

また、町内外の人々に魚市場に親しんでもらおうと、2階部分には見学通路が設けられ、中央荷さばき場と漁船が接岸する岸壁の両方を一望することができ、競りや選別、水揚げの様子を眺められるようになっているそうです。女川町内の訪ねてみたい人気スポットの一つになることと思います。

昨年6月に完成している東荷さばき場では、現在、大型巻き網や冷凍カツオなどを中心に水揚げされています。今回運用が開始された中央荷さばき場に続いて、来年3月に予定されている小型船や定置網船を受け入れる西荷さばき場が完成すれば、水産の町、女川町の復興の弾みになると、町の関係者の方々は期待を寄せているそうです。

東北応援団 白金支部では、ほんのわずかではありますが、水産業の町・女川町の応援をさせていただきたく、今年も東京都港区の「みなと区民まつり」に「女川町観光協会」様とコラボで出店、女川町の美味しい海の幸をご紹介しますいただきました。

2. 活動報告

(1) 概要

みなと区民まつり2016

(日 時) 2016年10月 8日(土) 11:00～17:00

2016年10月 9日(日) 10:00～16:00

(会 場) みなと区民まつり ふるさと物産展会場

(2) 出店目的

女川町PRとして、多くの方に宮城県女川町の名産品を食べていただくことで、女川町を認知していただく。

(3) 出店の構成

a) 実演販売エリア

- ◆ 女川汁 : 販売目標 各日 60杯 計 120杯
- ◆ スペシャル女川汁(帆立1個入り、2個入り) : 販売目標 各日 100杯 計 200杯
- ◆ 女川産 天然物 高級 あなご串 : 販売目標 各日 80串 計 160串
- ◆ 女川ホップペール : 販売目標 各日 75杯 計 150杯
- ◆ ほやきそば (Café & BAR OWL)

※Café & BAR OWL「ほやきそば」

「ほやきそば」は、女川町駅前プロムナードでお昼は美味しいランチ、夜はお酒を提供されている「Café & BAR OWL」さんが開発された商品で、今年、商標登録されました。女川町での2011年の活動当初、町内に避難されている方々と白金支部を結びつけてくださったのが、女川町のボランティアセンターであり、被災されながらも支援活動をされていた「REALeYE」の高橋ご夫婦でした。その高橋ご夫婦が現在営まれているのが「Café & BAR OWL」です。

b) 物産販売エリア

- ◆ 「蒲鉾本舗 高政」蒲鉾各種
- ◆ 「マルキチ阿部商店」リアスの詩、小女子、他
- ◆ 「岡清」水産加工品
- ◆ 「翔ジャパン」銀鮭、秋刀魚そぼろ(あがいんステーション)

(4)活動レポート

10月8日(土) みなと区民まつり 1日目

今年で5回目の出店となる「みなと区民まつり」の1日目の朝を迎えました。毎日変わる天気予報に一喜一憂しながら迎えた当日は、残念なことにやはり雨の予報です。たくさんのお客様がいらしてくださることを願いつつ開店準備を進めました。

前日に荷受を行った商材や道具などをブースに運び入れます。荷受は今回も弊会の支援活動をご理解・ご協力いただいております、白金支部の地元、港区白金の橋本様の建物の1Fにて、行わせていただきました。

「小女子の炊き込みご飯」は、今年も大門のホルモン焼きの名店「夏冬」さんのご協力により場所を提供していただき、後方支援の方々によって調理を開始しました。使用した天日干しの小女子は「マルキチ阿部商店」さんの人気商品です。

そして「蒲鉾本舗 高政」の高橋正樹さん、「マルキチ阿部商店」の阿部淳さん、「Café & Bar OWL」の高橋圭介さんが到着されました。女川町から取り寄せられた物販品が並べられ、「ほやしそば」の試し焼きが開始し、ガーリックのいい香りがあたりに広がります。

今年のテーマは「女川市場食堂」です。市場の美味しいものを使った定食のイメージで、定番となりました女川名物の秋刀魚すり身汁「女川汁」と合わせて、「小女子の炊き込みご飯」、「あなご串」と一緒にディスプレイをしてお客様にお勧めできるようにしました。



商品は注文窓口の脇にディスプレイ

この日の販売開始時刻は11時。雨が降ったりやんだりの午前中でしたが、お昼すぎには一旦雨が上がり、人も増えてきました。女川町のブース前に今回から配置された飲食スペースで一息つきながら、女川汁を召し上がってくださったご年配のご婦人は、「毎年、物産品の買い物をしてから、この汁をいただくの楽しみにしているんです」と、おっしゃってくださいました。

「ワイケイ水産」さんから取り寄せている秋刀魚のすり身は、脂ののった旬の秋刀魚をまるごとすり身にして、ねぎや生姜などで味付けされています。だし汁に団子状にしたすり身を落として、豆腐、ねぎを入れるだけで、誰でも美味しい「女川汁」を作ることができます。すり身が美味しかったとのお声をいただいたお客様には、お取り寄せの連絡先をリストにしたチラシや、「女川汁」のレシピをお渡ししました。

この「みなと区民まつり」は大きく分けて5つのエリアに分かれていて、女川町が出店する「ふるさと物産展」のエリアの他、ステージやキッズスペースのあるエリアなどがあります。一人でも多くの来場者の方に女川町のブースに足を運んでいただきたく、数名のスタッフが、会場内のお客様とコミュニケーションをとりながら、「女川汁」の試食券をプレゼントさせていただきました。100人の方にお声かけをし、半数近くの方がブースを訪れてくださいました。また、「女川汁」ご購入のお子さん連れのお客様には、「女川地区仮設歯科診療所」の活動で女川町をサポートされている、中久木様よりご支援いただきました、イーガー歯ブラシをプレゼントさせていただきました。

客足が伸びない中、この日用意したあなご串、女川汁がなんとか完売できたところで、明日の天気の回復を祈って店じまいとしました。

10月9日(日) みなと区民まつり 2日目

二日目は、祈りむなく、土砂降りの雨の中での開店となりましたが、午後には雨が止むとの予報です。この日は午後1時から、お祭りのメインイベントでもあるパレードが行われます。朝の会場内のアナウンスでは、パレードは予定通りに行われることが放送され、予報どおり雨が上がり、パレードの時間には客足が伸びることに期待を寄せます。

雨の中での設営で、すっかり冷えてしまった体には、まかないの「女川汁」の優しい味が染みわたります。前日のお客様の意見を取り入れて味を調整した「小女子の炊き込みご飯」は忙しくなる時間帯前にスタッフで試食をしたところ、とても美味しく炊きあがっていました。前日も早めに完売した穴子串の焼き上がりチェックも完了。後は雨が上がるのを待つのみとなりました。

予報どおり午後には雨が上がり、増上寺前の通りから華やかな音楽が聞こえてきます。来場者も増えたようです。「ほやしそば」は、「東京初出店」のポップも加えて、重点的にPRを行います。鉄板の上で豪快に焼かれるやしそばを目にして「ほやしそばって何？」と、足を止めて下さる方には、「新鮮な臭みのないほやを使って出汁をとり、ガーリックと塩コショウで味付けをしたほやの塩焼きそば」と説明すると、興味を持ってくださりご購入いただきました。

午後2時過ぎに、会場は一番の賑わいとなり、早々に完売した穴子串に続いて「女川汁」も完売です。「ほやしそば」は焼きそばの玉がなくなったため、残った具はほやのガーリック炒めとして数量限定で販売、好評のうちに、すべて完売となりました。



雨が上がり、ようやく人で賑わってきました！

ブース前の飲食スペースに人が増えるにつれ、物産の購入に訪れてくださる方も増えるようになりました。「蒲鉾本舗 高政」の蒲鉾は季節限定のぷちあげに続いて、笹かま、あげかまなど、すべて完売となりました。「マルキチ阿部商店」も人気の小女子は早々に売り切れ年末の贈答品やお節にもお勧めの高級昆布巻きの「リアスの詩」シリーズを中心に終了時刻まで販売をさせていただきました。



2日間、お疲れ様でした

以上をもちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

3. 活動を終えて

あいにくのお天気となつてしまい、物産購入目的を中心とした客足が伸びず、女川町のブースのみならず、近隣のブースも今年はいよいよ苦戦されていたようでした。そんな中でも女川町のブースでは、お渡しした試食券をもったお客様が雨の中ブースに来てくださったり、ブース前に新しく設けられた飲食スペースを利用して、何度も注文に来てくださる方がいらしたりなど、賑わいを感じることができました。

夏祭りとは違って、お客様との距離が近いこのお祭りでは、お客様とのコミュニケーションに重点を置いて活動しています。ブースを訪れ、女川町の今の様子を訊ねてくださる方々には、昨年の駅の再開から駅前プロムナードのオープンによって、駅前を中心に賑わいを取り戻しつつある様子や、反対にまだまだ仮設住宅にお住まいの方々がたくさんいらっしゃることを、お話しさせていただきました。

リピーターのお客様も増え、今年も楽しみにしていたとおっしゃってくださるお客様の来訪は、出店を継続してきたことの効果を感じる瞬間でもありました。

また、今年の3月に終了し、再スタートを切ることとなった「女川さいがいのFM」とTokyo FMとのコラボの生放送や、夏に放送されたTV東京の「孤独のグルメ」で主人公の五郎さんが女川町を訪ねた回の放送を話題にしてくださいる方もいらっしゃいました。メディアなどで耳にした女川町の名前を覚えていてくださる方が、実際に女川町の美味しいものを口にする事でさらに印象付け、町のPRに繋がっていくことを期待したいと思います。

今回も「女川町観光協会」様を始め、女川町よりお越しいただきました「蒲鉾本舗 高政」様、「マルキチ阿部商店」様、そして初出店の「Café & BAR OWL」様、出店のご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

また、雨の中ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

4. 今後の活動

本年度の白金支部の出店は完了しております。また東北応援団 白金支部では、女川町の「みなとまちセラミカ工房」さんの「震災で色を失った町をスペインタイルで彩るプロジェクト」を応援する活動を行っており、WEBサイトでは取材記事を公開中です。そちらも是非、ご覧くださいませ。

5. 補足事項

(1) 参加者 (敬称略/順不同)

安部 由美	後藤 奈津子	瓜田 創	末石 義史
古家 正暢	藤原 朗	太田 洋子	木沢 麻由子
平井 智子	長南 美樹	千脇 美登利	黒川 涼香
岩立 文香	楠 貴裕	越智 つぐみ	稲吉 華那
近藤 尚之	三上 加寿子	川端 陽子	工藤 史大

(2) 後方支援者 (敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二	橋本 直	橋本 渉	石川 重美
小澤 徹	石橋 寿人	渡辺 静江	後藤 香保子
後藤 誠史	小澤 雅志	林 麻衣子	林 智宏
蜜口 真人	石垣 健	大津 義哉 (REALeYE)	加藤 豊 (大門ホルモン焼き夏冬)

(3) 支援物資提供 (敬称略/順不同)

大門ホルモン焼 夏冬 女川地区仮設歯科診療所

(5) 協力 (敬称略/順不同)

女川町観光協会	蒲鉾本舗 高政	マルキチ阿部商店	Café & BAR OWL
岡清	ワイケイ水産	あがいんステーション	

(9) 主催元

港区 Kissポート財団事業課内 みなと区民まつり実行委員会

弊会の活動は、皆様のご理解、ご協力のうえで、成り立っております。

本当にありがとうございました。

私たちは、これからも女川町を継続して応援させていただきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成28年10月29日
東北応援団 白金支部
工藤 史大

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.